

【事前送付資料】

戸田市第5次総合振興計画後期基本計画 協働会議

《第4回資料》

【目次】

1. 『戸田市第5次総合振興計画後期基本計画協働会議』とは【おさらい】・・・2
2. 話し合いの進め方【おさらい】・・・・・・・・・・・・・・・・・・4
3. 第4回協働会議のプログラム・・・・・・・・・・・・・・・・・・5
4. 第4回協働会議のディスカッションの進め方・・・・・・・・・・6
5. 第4回協働会議に向けて(事前に考えていただきたいこと)・・・8
6. 参考資料・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・9

令和6年12月

1. 『戸田市第5次総合振興計画後期基本計画協働会議』とは 【おさらい】

(1) 趣旨と目的

- 戸田市では、市政運営の基本指針となる『戸田市第5次総合振興計画 後期基本計画』を令和7年度末までに策定する予定です。策定に当たっては、様々な手法を用い、市民の皆様から御意見をいただきながら計画づくりを進めることとしています。
- 協働会議は、協働によるまちづくりをテーマに、市民・議会・行政が一堂に会し、戸田市の将来を見据えた意見交換を行う場として、市が企画・運営する会議です。
- 公募市民・団体推薦市民・市議会議員・市職員など31名で構成され、未来のまちづくりの方向性について話し合い、その結果を市長に提言することになります。

『総合振興計画』とは？



市政運営の指針として、市の最上位に位置づけられる計画です。市の将来像や未来のまちづくりの方向性、重点的に取り組むべきこと等について示すものであり、市民の皆さまと共有し、ともに『わがまち・戸田』をつくり上げていくための指針ともなる重要な計画です。

- 市の計画策定スケジュールとの関連は、以下のとおりです。

年度	2024					2025						2026									
月	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
市民等																					
戸田市																					

協働会議: 2024年9月 - 2024年12月
 意識調査: 2025年4月 - 2025年5月
 パブリックコメント: 2025年9月 - 2025年11月
 基礎調査: 2024年8月 - 2024年12月
 提言: 2024年12月
 総合振興計画（後期基本計画）の検討: 2024年8月 - 2025年12月
 計画確定: 2026年2月 - 2026年3月

(2) 協働会議のスケジュール

- 協働会議は全 6 回で、開催日程は以下のとおりです。また、提言書提出式は、令和 7 年 3 月に予定をしております。
- 会議は原則公開とし、記録作成のため写真撮影及び録音を行います。予めご承知おきください。

	日時	協議内容など	
第 1 回	9月19日(木) 18:30-21:00	委嘱状交付式、オリエンテーション テーブルディスカッション ・『ここ 5 年間で戸田市の良くなったところ・そうでないところ』	済
第 2 回	10月24日(木) 19:00-21:00	オリエンテーション、分科会ワークショップ ・『戸田市の現状・問題と課題』テーマ 分科会発表・全体意見交換	済
第 3 回	11月19日(火) 19:00-21:00	オリエンテーション、分科会ワークショップ ・『今後、5 年間の目指すべき姿・考え方』テーマ ・『目指すべき姿を実現するための取り組み』テーマ 分科会発表・全体意見交換	済
第 4 回	12月19日(木) 19:00-21:00	オリエンテーション、分科会ワークショップ ・『今後、5 年間の目指すべき姿・考え方』テーマ ・『目指すべき姿を実現するための取り組み』テーマ 分科会発表・全体意見交換	今回はここです
第 5 回	令和7年 1月16日(木) 19:00-21:00	オリエンテーション、分科会ワークショップ ・『提言書(素案)の確認と修正』 ・『市民・議会・行政の役割分担』	
第 6 回	2月12日(木) 19:00-21:00	オリエンテーション、分科会ワークショップ ・『提言書(案)の最終確認』 分科会発表・全体意見交換 総括(フリートーク)	
提言書 提出式	3月(予定)	市長に提言書を提出	

2. 話し合いの進め方 【おさらい】

(1) ファシリテーター（進行役）について

- 分科会メンバーからファシリテーター（進行役）を1名決めて、話し合いを進行します。

(2) 話し合いに当たって

話し合いのルール

- 公平に、建設的に話し合いましょう。
他の人の意見を遮ったり、感情的に否定したり、特定の個人などを批判することなく、お互いの意見を尊重し、違いを明確にしたうえで、公平に、建設的に話し合いましょう。
- 広い視野で話し合いましょう。
特定の個人、団体や地域の利益につながるのではなく、戸田市の望ましい未来を考え、そのために生かしていきたい強みは何か？といった視点から、市の全体を見渡しながらか話し合いましょう。

わからないことがあったら

- 事務局がサポートします。
協働会議は、参加者の皆さまで話し合った意見などを、今後の戸田市のまちづくりに役立てていくための会議です。
「市役所の取組をよく知らない」や「自分が何を話したらよいかわからない」などとお考えになるかも知れませんが、日ごろの生活の中で印象に残っていることや感じていることで構いませんので、積極的にお話しください。

ワークショップの記録

- 各回の記録を作成し、次回にお示しします。
話し合った内容や、模造紙に貼り出した意見は、事務局がとりまとめて、次回にお示しします。（その際、字句の修正や若干の補足などをさせていただきます。）
- 前回の記録を確認しながら、話し合いを進めます。
毎回、前回話し合われたことの「おさらい」をしながら、話し合いを進めます。記録を見ながら、「大事な意見」「少数意見だったが残したい意見」なども確認した上で、話し合いを進めていきます。

3. 第4回協働会議のプログラム

- テーマの各分野について『今後、5年間の目指すべき姿・考え方』及び『目指すべき姿を実現するための取り組み』について、話し合いを行います。
- 限られた時間での話し合いになりますので、御意見などをあらかじめ準備くださいますようお願いいたします。
- 事前に考えていただきたい内容は、8ページをご覧ください。

時間(目安)	内 容
18:30~	受付(所属の分科会テーブルに御着席ください)
19:00~ 19:15	(1)開会 (2)オリエンテーション 本日の進め方や事前に配布した資料などを説明します。
19:15~ 20:30	(3)分科会ディスカッション <ul style="list-style-type: none"> ➢ ファシリテーター(進行役)発表者を決めていただきます。 ➢ ワークシートを使って、以下のディスカッションを行います。 <div style="border-left: 2px solid blue; border-right: 2px solid blue; padding: 0 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・第2回『戸田市の現状・問題と課題』テーマの再確認 ・『<u>今後、5年間の目指すべき姿・考え方</u>』テーマ ・『<u>目指すべき姿を実現するための取り組み</u>』テーマ </div> <p>ディスカッションの進め方は、次のページをご覧ください。 分科会ごとに、区切りの良い時に休憩します。</p>
20:30~ 20:55	(5)発表 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 分科会で話し合った『今後、5年間の目指すべき姿・考え方』及び『目指すべき姿を実現するための取り組み』について、発表します。 ➢ 発表後に、全体で意見交換を行います。
21:00	(6)事務連絡、閉会

- 第4回協働会議では、以下のテーマについて、分科会で話し合います。

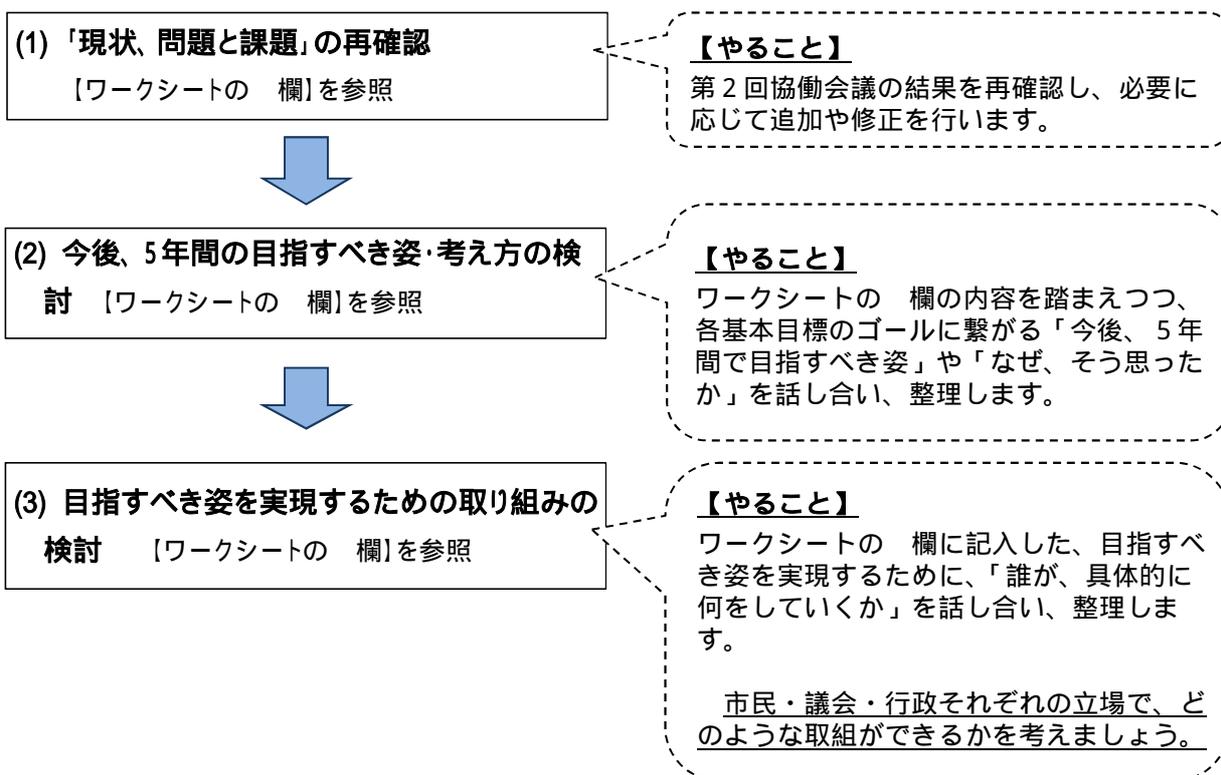
分科会	基本目標	分野
A	基本目標	テーマ：消防・救急、防災、防犯、市民相談・消費生活、河川・水路
B	基本目標	テーマ：高齢者福祉、社会保障、障がい者(児)福祉
C	基本目標	テーマ：生涯学習、芸術・文化、スポーツ・レクリエーション
D	基本目標	テーマ：起業・就労支援、産業振興、観光振興、協働・交流

4. 第4回協働会議のディスカッションの進め方

- ディスカッションは、以下の進め方で行います。
- 第2回協働会議で話し合った結果を踏まえ、『今後、5年間の目指すべき姿・考え方』と『目指すべき姿を実現するための取り組み』を話し合います。

【ディスカッションの進め方】

別添1「分科会ワークシート」を使って、話し合いを進めます（約75分）



3～5つある分野それぞれについて話し合い、分科会としての意見をまとめていきます。

ワークシートは、提言書（案）の基となる資料です。記入した内容は第6回協働会議まで、適宜、確認や更新することが可能です。

ワークシートのイメージ図は次のページを御覧ください。

ワークシートのイメージ図

分科会【A】	テーマ①:子育て支援、児童・青少年育成、学校教育			
基本目標Ⅰ	子どもが健やかに育ちいきいきと輝けるまち			
基本目標Ⅰのゴール	地域全体で子育てを支えるという理念を大切に、子育て支援に積極的に取り組む市として、安心して子どもを産み指します。 また、安全に健やかに過ごせる環境の中で、これからの社会の在り方を見据えた特色ある教育を展開し、子どもたち			
分野	① 現状、問題と課題 【第2回より】※再確認	② 今後5年間の目指すべき姿・考え方 【現状、問題と課題を踏まえ、目指すべき姿と、考え方を整理します】		
		<table border="1"> <tr> <td>【目指すべき姿】</td> <td>←</td> <td>【なぜ、そう思ったか】</td> </tr> </table>	【目指すべき姿】	←
【目指すべき姿】	←	【なぜ、そう思ったか】		
子育て支援	<ul style="list-style-type: none"> ◎保育料（0～2歳）も無料に（負担の軽減） ◎保育士の確保・質 ◎希望した保育園にすんなり入園できた ・父子家庭支援 ・宿泊デイ（産後ケア本当に届いてますか？） 	<p>分科会で話し合い、ワークシートの 欄と 欄を埋めていきます。 ワークシートの記入は事務局が行い、各テーブルのモニターに投影します。</p>		
児童・青少年育成	<ul style="list-style-type: none"> ◎学童の待機児童を「0」に ◎学校内の公立学童の充実（民間のように） ◎民間学童の質 ◎室内の遊び場がもっとほしい（雨の日、真夏） ◎青少年の広場の整備 ◎ボールで遊べる広場が少ない ◎子供会が弱体化している ・外国人の子ども達 			
学校教育	（地区により学力に差があると思わ			

【補足説明1】

第2回の模造紙の内容を事務局で記入しています。
グループごとに、頭の記号を統一
グループ外は、黒ポチ

第3回協議会議 分科会ワークシート

展開し、子どもたちが未来の創り手となるための力を育むことを目指します。

【補足説明2】

実施主体を記入する【誰が】欄は、以下の観点で検討します。

- ・「市民」 市民、事業者、団体など民間が行う取り組み
- ・「議会」 戸田市議会が行う取り組み
- ・「行政」 戸田市役所や埼玉県などの行政が行う取り組み

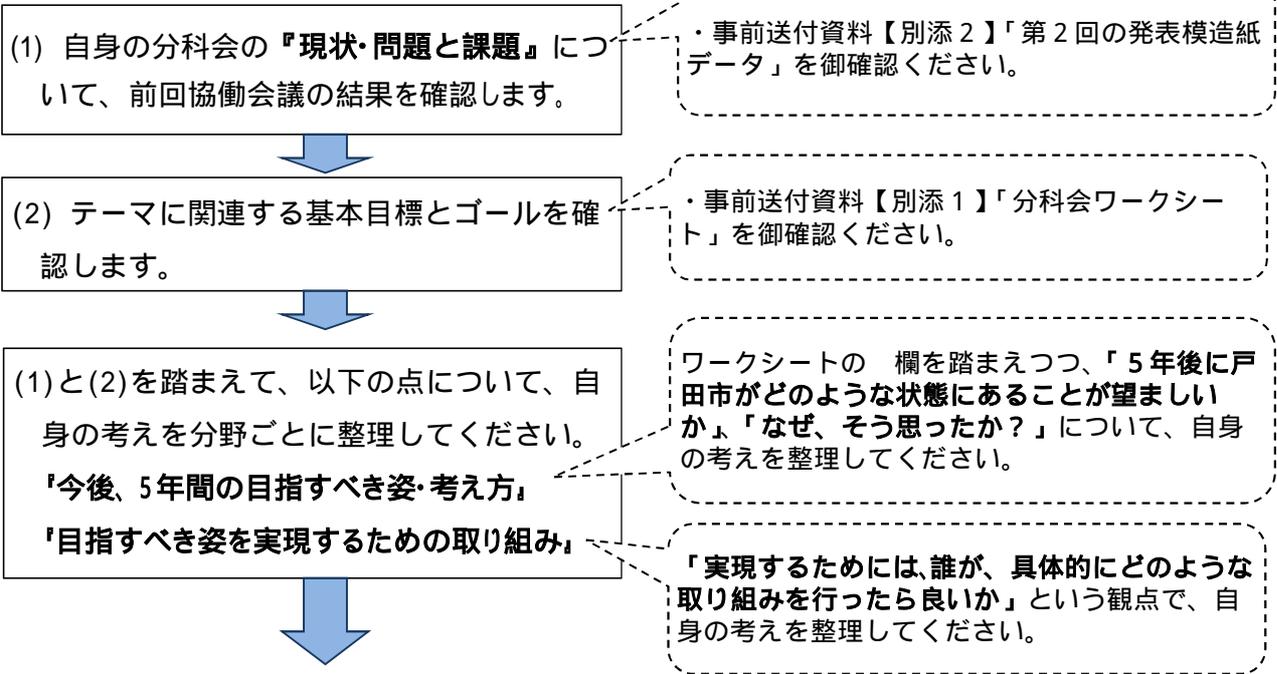
目指すべき姿の実現のために、それぞれの立場で、どのような取組ができるかを考えます。

一緒に行う取り組みなどは「市民・行政」と複数になっても良いです。

③ 目指すべき理想の姿を実現するための取り組み 【誰が(実施主体)、具体的に何をしていくかを整理します】	【誰が】	【何を(取り組みのアイデア)】	関連する施策									
			<table border="1"> <tr> <td>【なぜ、そう思ったか】</td> <td></td> <td></td> <td>施策1 施策2</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>施策3</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>施策4</td> </tr> </table>	【なぜ、そう思ったか】			施策1 施策2				施策3	
【なぜ、そう思ったか】			施策1 施策2									
			施策3									
			施策4									

5. 第4回協働会議に向けて（事前に考えていただきたいこと）

【事前に考えていただきたいことの流れ】 テーマのみを話し合います。



整理の仕方のイメージ

【児童・青少年育成】を例に、説明します。問題と課題では、こどもの居場所に関し、学童保育室や遊び場の視点で複数の項目が挙がっています。

整理の仕方として、以下の例1「こどもの居場所」という観点での整理や、例2「学童保育室」と「遊び場」という2つに分けて整理することもあります。

これについては、自身の考えで整理した上で、第4回協働会議の中で、話し合い、互いの意見を尊重しながら、分科会としての意見として、まとめあげていきましょう。

分野	① 現状、問題と課題 【第2回より】※再確認	② 今後5年間の目指すべき姿・考え方 【現状、問題と課題を踏まえ、目指すべき姿と、考え方を整理します】	
		【目指すべき姿】	【なぜ、そう思ったか】
児童・青少年育成	<ul style="list-style-type: none"> ◎学童の特設児童を「0」に。 ◎学校内の公立学童の充実（民間のように）。 ◎民間学童の質。 ◎室内の遊び場がもっとほしい。（雨の日、真夏）。 ◎青少年の広場の整備。 ◎ボールで遊べる広場が少ない。 ◎子供会が弱体化している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学童保育の特設児童が0となるとともに、質が向上し、こどもが安心して遊べる広場、こどもの居場所が確保されている状態。 <p>【例1】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・戸田市は若い共働きの家庭が多いことから、放課後にこどもが安全で安心して過ごせる場所が確保されることにより、児童・青少年の健全な成長につながる。

【例2】

<ul style="list-style-type: none"> ・利用ニーズを捉えた学童保育室の拡充と公立及び民間学童保育室の保育の質が向上された状態。 ・年齢に応じて自由に遊べる遊び場が拡充された状態。 	<ul style="list-style-type: none"> ・低学年の学童ニーズが高く、希望した家庭が利用できることが重要。 ・利用者が安心して預けることができる保育の質が必要。 ・高学年は自由に遊べる遊び場が重要。 ・学校以外の遊び場の拡充。
---	---

- 基本目標・分野・施策の対応表は、以下のとおりです。

【参考】基本目標・分野・施策の対応表

基本目標	分野	施策名称	冊子の 該当ページ
基本目標 子どもが健やかに育ち いきいきと輝けるまち	子育て支援	(1) 子育て支援の充実	48
		(2) 乳幼児期の保育・教育の充実	50
	児童・青少年育成	(3) 児童・青少年の育成環境の充実	52
	学校教育	(4) 世界で活躍できる人間の育成	54
基本目標 創造性や豊かな心を 育むまち	生涯学習	(5) 生涯学習活動の推進	58
	芸術・文化	(6) 芸術文化活動の推進	60
	スポーツ・レクリエーション	(7) スポーツ・レクリエーション活動の推進・充実	62
基本目標 共に生き、支えあい 安心して暮らせるまち	医療	(8) 地域医療体制の強化	66
	健康づくり	(9) 健康づくり支援の充実	68
	地域における支え合い	(10) 地域福祉の推進	70
	高齢者福祉	(11) 高齢者福祉環境の整備・充実	72
	社会保障	(12) 国民健康保険・後期高齢者医療・国民年金の円滑な運営	74
		(13) 生活困窮者支援の充実	76
	障がい者（児）福祉	(14) 障がい福祉環境の整備・充実	78
基本目標 安全な暮らしを守るまち	消防・救急	(15) 消防・救急体制の強化	82
	防災	(16) 地域防災力・危機管理体制の充実・強化	84
	防犯	(17) 防犯体制の強化	86
	市民相談・消費生活	(18) 市民相談機能と消費生活の充実	88
	河川・水路	(19) 浸水対策の推進	90
	道路	(20) 安全な道路環境の整備・推進	92
基本目標 快適に過ごせる生活基盤 が整備されたまち	市街地整備・景観	(21) 快適で秩序ある美しい市街地の形成	96
	住宅	(22) 安心して生活できる住環境の充実	98
	上下水道	(23) 上下水道事業の効率的な運営・施設の充実	100
	公共交通	(24) 公共交通が利用しやすい環境の整備・推進	102
基本目標 都市環境と自然環境が 調和したまち	緑地・緑化・水辺	(25) 自然に親しむ空間の整備・推進	106
	公園	(26) 魅力ある公園づくり	108
	地球環境保全	(27) 生活環境の保全	110
	廃棄物・リサイクル	(28) 環境衛生の充実	112
基本目標 活力にあふれ人が集い 心ふれあうまち	起業・就労支援	(29) 多様な働き方への支援・充実	116
	産業振興	(30) 産業振興の推進	118
	観光振興	(31) 地域資源を活用した観光振興の推進	120
	協働・交流	(32) 市民活動の活性化と地域交流の促進	122

分科会[A]	テーマ : 消防・救急、防災、防犯、市民相談・消費生活、河川・水路
基本目標	安全な暮らしを守るまち
基本目標のゴール	市民・地域・行政の役割分担と協働のもと、地震や水害などに対する備えや、消防・救急体制を充実・強化することで、 <u>災害等に対し強靱な地域づくり</u> を目指します。 また、犯罪や消費生活トラブルをなくすために、市民の意識高揚と警察等の関係主体との連携を図るとともに、安全な道路環境の整備を推進することにより <u>交通事故を防ぎ、市民が安心して、安全に暮らせるまち</u> を目指します。

分野	現状、問題と課題 【第2回より】 再確認	今後5年間の目指すべき姿・考え方 【現状、問題と課題を踏まえ、目指すべき姿と、考え方を整理します】		目指すべき姿を実現するための取り組み 【誰が(実施主体)、具体的に何をしていくかを整理します】		関連する施策
		【目指すべき姿】	【なぜ、そう思ったか】	【誰が】	【何をする(取り組みのアイデア)】	
消防・救急	消防・救急の質の維持 消防団員の不足					施策15
防災	道路が冠水する 大雨による冠水対策がもっと必要 令和8年完成雨水貯留管(北大通り)その効果は？ 水害への不安の声が多い(家・車など)(ゲリラ豪雨) 防災訓練参加者が少ない。市民の意識の向上 歩きタバコが多い					施策16
防犯	バイク盗難が多い 自転車盗難が多い 防犯対策ニュース(パトロールを増やす)(地域コミュニティ) 新曽地区の治安 犯罪認知件数がまだ多い 防犯パトロール活動が盛んに行われている					施策17
市民相談・消費生活	市民相談をもっと気軽に 認知度UP 相談員不足(介護、資金など)					施策18
河川・水路	用水路の活用					施策19

分科会[B]	テーマ : 高齢者福祉、社会保障、障がい者(児)福祉
基本目標	共に生き、支えあい、安心して暮らせるまち
基本目標のゴール	地域医療や健康づくり体制などの充実を進めることで、市民が健康で元気に暮らせるまちを目指します。 また、地域における多様な主体の連携と市民相互の支え合いを基本としながら、的確に福祉サービスを提供することにより、高齢者や障がい者など、支援を必要とする人々が、その人らしく安心して暮らせるまちを目指します。

分野	現状、問題と課題 【第2回より】 再確認	今後5年間の目指すべき姿・考え方 【現状、問題と課題を踏まえ、目指すべき姿と、考え方を整理します】		目指すべき姿を実現するための取り組み 【誰が(実施主体)、具体的に何をしていくかを整理します】		関連する施策
		【目指すべき姿】	【なぜ、そう思ったか】	【誰が】	【何をする(取り組みのアイデア)】	
高齢者福祉	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者の再就職 高齢者の健康維持(フレイル予防など) 道路のバリアフリー化 高齢者の二分化(地域活動に参加できる人とそうでない人) 各個人の支援の充実 要支援・要介護になってからでないとサポートがない 単身・独居の見守り 施設に入れない人の地域の受け入れ 高齢者の安否確認 高齢者(単身)の孤立(人とのつながり) 宅配弁当が美味しくない 単身の元気な人の支援 独居老人の増加 高齢者の二分化(地域活動に参加できる人とそうでない人) <p>・施設・人手不足</p>					施策11
社会保障	<ul style="list-style-type: none"> 50、60代の独居増 高齢者の再就職 就労が続くような支援 外国人への社会保障 社会保障費増 <p>・企業全社が厚生年金に入る</p> <p>・厚生年金に入っていない方々の生活が苦しい</p> <p>・社会保険料</p>					施策12 施策13
障がい者(児)福祉	<ul style="list-style-type: none"> 障害者施設の受け入れ態勢が整わない 親亡き後の生活(近隣・近郊に入所施設なし) 施設・人手不足 預かり施設の時間が短い <p>・保育士加配 人手不足でつけられない</p> <p>・移動しやすい道・歩道</p> <p>・就労支援</p>					施策14

分科会【C】	テーマ :生涯学習、芸術・文化、スポーツ・レクリエーション
基本目標	創造性や豊かな心を育むまち
基本目標のゴール	市民が、生きがいづくりやまちづくりへ参画するために、生涯にわたって学び合える環境を構築するとともに、文化・スポーツ活動を通じて文化の創造・継承やスポーツに触れることで、 <u>人生 100 年時代</u> を心豊かに過ごせるまちを目指します。

分野	現状、問題と課題 【第2回より】 再確認	今後5年間の目指すべき姿・考え方 【現状、問題と課題を踏まえ、目指すべき姿と、考え方を整理します】		目指すべき姿を実現するための取り組み 【誰が(実施主体)、具体的に何をしていくかを整理します】		関連する施策
		【目指すべき姿】	【なぜ、そう思ったか】	【誰が】	【何をする(取り組みのアイデア)】	
生涯学習	<p>若年層の参加促進。リカレント、リスキリング...</p> <p>市民大学(特に大学提携講座)は平日昼間で、現役世代が参加できない</p> <p>生涯学習のバリエーションが増えてきている</p> <p>学校教育と比べ、生涯学習のICTの進み方が遅い</p> <p>生涯学習サイトの充実</p> <p>広報 生涯学習が弱い</p> <p>・公民館が老朽化(あいパルと他公民館の格差)</p>					施策5
芸術・文化	<p>バンド(ギターやドラム)演奏できる施設が無い</p> <p>バンド演奏できる機会もない</p> <p>市民が参加できる芸術イベントの開催</p> <p>芸術・文化のイメージがない</p> <p>文化・芸術祭(戸田マラソンのような)シンボリックな目玉がない。イベントがショボい</p> <p>文化会館の幅広い利用(市民が文化芸術に触れる機会がサークル系などに偏っている感じがする)</p>					施策6

スポーツ・レ クリエーシ ョン	スポーツセンターの建替え ボートコース、彩湖の活用 スポーツセンターの老朽化 戸田ボートコース(固有資源)の有効活用、 魅力発信 北部公園野球場で公式試合ができるように 整備 道満の整備 質の高いスポーツを見るための誘致できる 施設がない ・オリンピック選手にスポーツ教室を開いて 欲しい(定期的に) ・(ヤクルト)ロッテ他とコラボ、活性化				施策7
-----------------------	--	--	--	--	-----

分科会[D]	テーマ : 起業・就労支援、産業振興、観光振興、協働・交流
基本目標	活力にあふれ人が集い心ふれあうまち
基本目標のゴール	多様な働き方の実現や市内経済を支える産業の振興、町会、ボランティアなどの団体に対する活動の促進などにより、「まちの活力」の創出を目指します。 また、地域資源を活かした観光の取り組みを通じて、賑わいの創出を目指すことや、国内外の地域住民の交流を促進することで、人が集まり、心ふれあうまちを目指します。

分野	現状、問題と課題 【第2回より】 再確認	今後5年間の目指すべき姿・考え方 【現状、問題と課題を踏まえ、目指すべき姿と、考え方を整理します】		目指すべき姿を実現するための取り組み 【誰が(実施主体)、具体的に何をしていくかを整理します】		関連する施策
		【目指すべき姿】	【なぜ、そう思ったか】	【誰が】	【何をする(取り組みのアイデア)】	
起業・就労支援	<p>弱い立場の人を助ける仕事を応援する 働けない人(引きこもり、障害者等)への支援</p> <p>起業家 ソーシャルビジネス、コミュニティービジネス起業家育成 (起業)身近なテーマになっていない</p> <p>・そもそもベッドタウン、寝るだけ。仕事場ではない?(逆もあり)</p>					施策29
産業振興	<p>産業振興について 「産業全体」への声が少ない 戸田市の産業についてまだよく知らない!</p> <p>戸田市の工業のスゴさをもっと知って! 戸田の名産品があまりない ふるさと納税を盛り上げる 優良推奨品</p> <p>買い物への関心は高い 機会を求めている 新しいものとの出会いの場がほしい! というコト</p> <p>買い物環境、医療施設など、市内に「地域格差」がまだある! (産業)地域によって商業施設がない、遠い。</p> <p>・空いている土地に企業を誘致したらどうかという意見 ・街灯が全くない道が多々ある。安全面が懸念される ・個人商店の2代目、3代目の進め方の失敗</p>					施策30

<p>観光振興</p>	<p>競艇場のイメージしか持たれていない。他のアピールもすべきでは 観光 戸田市の知名度が低い 市外へのアピール 他市に比べて治安がいいことをアピールすべきでは 花火以外にも！ 観光 戸田市を印象づけるものをもっとほしい！ 戸田市の存在感が薄まっている気がする(市外からの印象)。もっと市のアピールをするべきでは 笹目神社さん 頑張ってます 神社・寺の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボートコースも PR ・彩湖・道満グリーンパーク～荒川、戸田ボートコース 水の緑のラインを充実させよう ・地域資源の掘り起こし 寺社等歴史の見直し 				<p>施策 3 1</p>
<p>協働・交流</p>	<p>外国人への和文化教育を！和文化共生(協働)外国人が増えているが、多文化共生は進んでいる？ 「人間関係の希薄化」の不安 交流の場・機会づくりが重要 (高齢者の方から)孤独感、漠然とした不安があるという意見。地域の横のつながりが減っていているのではないか 自助 共助 公助 近助 (協働)町会加入者減 自治会に加入する人が年々減っている。会長の高齢化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民主体のイベント増 戸田市の特徴 これを応援！支援！ ・ソーシャルビジネス、コミュニティービジネスの積極活用 				<p>施策 3 2</p>

分科会【A】テーマ

消防・救急

消防・救急の質の維持

消防団員の不足

防災

道路が冠水する

大雨による冠水対策がもっと必要

令和8年完成
雨水貯留管(北大通り)
その効果は?

水害への不安の声が多い
(家・車など)
(ゲリラ豪雨)

防災訓練参加者が少ない。
市民の意識の向上

歩きタバコが多い

防犯

バイク盗難が多い

自転車盗難が多い

防犯対策ニュース
(パトロールを増やす)
(地域コミュニティ)

新曽地区の治安

犯罪認知件数がまだ多い

防犯パトロール活動が盛んに行われている

市民相談・消費生活

市民相談をもっと気軽に
認知度UP

相談員不足
(介護、資金など)

河川・水路

用水路の活用

分科会【B】テーマ

高齢者福祉

高齢者の再就職

高齢者の健康維持
(フレイル予防など)

道路のバリアフリー化

高齢者の二分化
(地域活動に参加できる人とそうでない人)

施設・人手不足

各個人の支援の充実

要支援・要介護になってからでないとサポートがない

施設に入れない人の地域の受け入れ

高齢者(单身)の孤立
(人とのつながり)

単身の元気な人の支援

单身・独居見守り

高齢者の安否確認

宅配弁当が美味しくない

独居老人の増加

社会保障

企業全社が厚生年金に入る

厚生年金に入っていない
なかった方の生活が
苦しい

社会保険料

50、60代の独居増

高齢者の再就職

就労が続くような支援

外国人への社会保障

社会保障費増

障がい者(児)福祉

障害者施設の受け入れ態勢が整わない

親亡き後の生活
(近隣・近郊に入所施設なし)

施設・人手不足

預かり施設の時間が短い

保育士加配
人手不足でつけられない

移動しやすい道・歩道

就労支援

分科会【C】テーマ

生涯学習

若年層の参加促進。
リカレント、リスキリング...

市民大学(特に大学提携講座)は平日昼間で、現役世代が参加できない

生涯学習のバリエーションが増えてきている

学校教育と比べ、生涯学習のICTの進み方が遅い

生涯学習サイトの充実

広報
生涯学習が弱い

公民館が老朽化(あいパルと他公民館の格差)

芸術・文化

バンド(ギターやドラム)演奏できる施設が無い

バンド演奏できる機会もない

芸術・文化のイメージがない

文化会館の幅広い利用(市民が文化芸術に触れる機会がサークル系などに偏っている感じがする)

市民が参加できる芸術イベントの開催

文化・芸術祭(戸田マラソンのような)シンボリックな目玉がない。イベントがショボい

スポーツ・レクリエーション

スポーツセンターの建替え

スポーツセンターの老朽化

北部公園野球場で公式試合ができるように整備

質の高いスポーツを見るための誘致できる施設がない

ボートコース、彩湖の活用

戸田ボートコース(固有資源)の有効活用、魅力発信

道満の整備

オリンピック選手にスポーツ教室を開いて欲しい(定期的に)

(ヤクルト) ロッテ 他とコラボ 活性化

分科会【D】テーマ

起業・就労支援

弱い立場の人を助ける仕事を応援する

起業家 ソーシャルビジネス、コミュニティビジネス起業家育成

働けない人(引きこもり、障害者等)への支援

(起業)身近なテーマになっていない

そもそもベッドタウン、寝るだけ。仕事場ではない？(逆もあり)

観光振興

ボートコースもPR

競艇場のイメージしか持たれていない。他のアピールもすべきでは

観光 戸田市の知名度が低い

市外へのアピール

他市に比べて治安がいいことをアピールすべきでは

花火以外にも！

観光 戸田市を印象づけるものがもっとほしい！

戸田市の存在感が薄まっている気がする(市外からの印象)。もっと市のアピールをするべきでは

彩湖・道満グリーンパーク～荒川、戸田ボートコース 水の緑のラインを充実させよう

地域資源の掘り起こし 寺社等歴史の見直し

笹目神社さん 頑張ってます

神社・寺の活用

産業振興

産業振興について「産業全体」への声が少ない 戸田市の産業についてまだよく知らない！

戸田市の工業のスコサをもっと知って！

戸田の名産品が少ない

ふるさと納税を盛り上げる

優良推奨品

買い物への関心は高い 機会を求めている 新しいものとの出会いの場がほしい！というコト

買い物環境、医療施設など、市内に「地域格差」がまだある！

(産業)地域によって商業施設がない、遠い。

空いている土地に企業を誘致したらどうかという意見

街灯が全くない道が多々ある。安全面が懸念される

個人商店の2代目、3代目の進め方の失敗

協働・交流

ソーシャルビジネス、コミュニティビジネスの積極活用

市民主体のイベント増 戸田市の特徴 これを応援！支援！

「人間関係の希薄化」の不安 交流の場・機会づくりが重要

外国人への和文化教育を！和文化共生

(高齢者の方から)孤独感、漠然とした不安があるという意見。地域の横のつながりが減っていているのではないか

自助 共助 公助 近助

(協働)外国人が増えているが、多文化共生は進んでいる？

(協働)町会加入者減

自治会に加入する人が年々減っている。会長の高齢化

第2回協働会議の発表記録（要旨）

分科会 A

テーマ 子育て支援、児童・青少年、学校教育について（岡安委員）

- 戸田市が強調している子育て支援の一環として、就学時の児童への対策が最優先と考えた。特に低学年の児童に対しては、学童の質と規模が議論の対象となった。
- 青少年が安全に遊べる場所として、学校以外の遊び場や青少年広場の拡充を推進することが重要であるとの意見が出された。
- 教員の不足やPTAの欠如、子ども会の弱体化など、学校以外の場所における児童・生徒への支援活動の強化が必要であるとの提案があった。
- 保育園の問題として、人口の増加を見越した待機児童問題への対策が引き続き必要であるとの意見が出された。

テーマ 消防・救急、防災、防犯、消費生活、河川・水路について（宮内委員）

- 水害への市民の不安が高まっており、雨水貯留管など防災施設の建設の他、市民一人ひとりの防災意識の向上が必要との意見が出された。
- バイクや自転車の盗難が多発している問題について議論し、防犯対策を強化する必要があるとの意見が出された。
- 市民からの相談件数の増加に対応するために、詐欺などに対する相談窓口の知識を市民に広める必要があるとの意見が出された。
- 防災、消防、救急を担当する消防団員の不足が指摘され、その解消が必要であるとの課題がある。
- 水路・河川では、用水路を活用したらどうかとの声があった。

分科会 B

テーマ : 医療、健康づくり、地域における支え合い（大益委員）

- 地域の支え合いが希薄化していること、そして、PTA、町会、民生委員の役割を担ってくれる人が不足しているという話が盛り上がった。
- 均等な医療の提供について、特に地域間の医療格差についての問題意識が強まっている。その中でも、人口が少なく、魅力も少ない西側地区の問題は特に大きく、これらが要因で医療格差が生まれている可能性がある。
- 医療費負担については、マイナ保険証を用いての周知を通じた二重処方の防止と医療費の抑制が提案されている。しかし、現状ではその周知が十分でないとの意識が強い。

テーマ : 高齢者福祉、社会保障、障がい者（児）福祉（大益委員）

- 高齢者福祉については、地域活動に参加できる高齢者と参加できない高齢者の間で二分化が進んでいる。孤独な高齢者には更なる支援が必要とされており、また、再就職や地域との繋がりを促進する施策の充実が求められている。
- 社会保障については、生活保護受給者の就労支援によって社会保障料全体を下げるができるという意見が出された。
- 障害者（児）福祉については、施設の不足、受け入れ時間の短さ、親が亡くなった後の生活支援など、様々な面での支援の不足が課題として挙げられた。

分科会C

テーマ 市街地整備・景観、住宅、上下水道、公共交通、道路（みうら委員）

- 公共交通について議論が行われ、美笹地域のトコバスの利便性や東西のアクセス強化が求められた。具体的には、トコバスと路線バスの利便性の向上及び新しい公共交通の導入が検討された。
- 市街地整備や景観については新曽区画整理の未了や駅前整備の地域格差、新曽南地域の街灯が暗いという問題が挙げられた。しかしながら、駅周辺の整備が進んで賑わいが創出されたという肯定的な意見も寄せられた。
- 道路では歩道の狭さ、自転車通行に関する問題や植樹帯の管理といった問題が指摘された。具体的には、自転車道路を使わない自転車通行やマナーが悪い自転車の存在、歩道に生い茂った雑草が自転車及び歩行者の通行を妨げているという意見があった。
- 駅周辺のマンションが多く立地しており、その結果として老朽化も進行しているという問題が住宅の議論の中で取り上げられた。
- 上下水道では、料金が安いという前向きな意見と反対に新曽地域の下水道整備が遅れているという課題が出された。

テーマ 生涯学習、芸術・文化、スポーツ・レクリエーション（小山田委員）

- 芸術文化については「印象がない、目玉がない」という言葉で戸田市の弱点を指摘し、これが今後の課題として特に重視された。
- スポーツ・レクリエーションでは、パリオリンピックで活躍した戸田市出身の選手が話題に上がった。一方で、ボートコースや彩湖、スポーツセンターといった施設の資源が有効活用できていないという問題が出された。
- 生涯学習部門では、そのネーミングが高齢者向けに見える問題が指摘され、逆に若者向けにも生涯学習を取り入れた土日の講座設営が提案された。多様な年齢層への教育提供が求められたとも言える。

分科会D

テーマ : 緑地・緑化・水辺、公園、地球環境保全、廃棄物・リサイクル（岡本委員）

- 緑地化については、戸田市の景観作りの一環として進めるべきだという意見が出されたが、これには害虫問題や落ち葉による安全上の問題などのデメリットも存在する。この問題を解決するための対策も同時に考えられるべきと話し合われた。
- 公園については、公園ごとにテーマを決めて、それを利用した地域のイベントを開催することで地域コミュニティとのつながりを深める提案があった。
- 地球環境保全に対しては、太陽光パネルの導入について議論するとともに、それについての知識を市民に周知することが重要との意見が示された。
- 廃棄物については、地域によりゴミ出しのルール守れていないところがあり、これについてマナーの周知強化が必要であると意見が出された。

テーマ：起業・就労支援、産業振興、観光振興、協働・交流（岡本委員）

- 起業・就労支援については、弱い立場の人々を支援することと、起業家の育成を目指すべきとの2つの意見が挙げられた。
- 産業振興については、戸田市の名産品やふるさと納税を活用して盛り上げることや、知らない人に対しても名産品を周知するための取り組みが必要との意見が出された
- 観光振興については、ポートコースをはじめとする戸田市の観光名所のPRを強化し、より多くの人にこの場所を知ってもらいたいとの意見があった。
- 最後に協働・交流については、多文化共生の推進と、町会への参加者を増やすための周知活動が提案された。

第2回協働会議のテーマに関するアンケート募集結果（募集期間：R6.10.25～11.4）

No	Q:回答者	Q:該当するテーマ(1)またはテーマ(2)を選択してください。	Q:選んだテーマにおける「戸田市の現状・問題と課題」があれば、記入してください。（回答者の回答内容をそのまま、掲載しております）
1	戸田市在住	分科会【C】テーマ(1)市街地整備・景観、住宅、上下水道、公共交通、道路	<ul style="list-style-type: none"> ・戸田駅東口周辺などの区画整理事業がまったく進んでいないことが問題である。 ・中途半端に行き止まりの道などが多すぎる。 ・区画整理が進まないため用途不明な土地が多く、暗い印象を与えるため軽犯罪が頻発に起こるのではないかと、早急に対応すべき ・新曽第二土地区画整理事業内のラブホテルは、ファミリー層の多いエリアで子育てに悪影響を及ぼし、軽犯罪などを誘致しうる案件である。また付近に大きな公園計画があるがラブホテルの横に公園とはいかがなものか?市民が気持ちよく利用できる公園には賛成であるが、早急にラブホテルをなくす必要がある。
2	戸田市在住	分科会【D】テーマ(1)緑地・緑化・水辺、公園、地球環境保全、廃棄物・リサイクル	<p>スポーツセンター付近に予定されている公園計画はどうなっているのですか? 区画整理も中途半端で全然進まない対応に嫌気が差します。 イベントなどを充実させているようですが、まずは住環境を整備することに力を注いでください。 いつまで経っても進まない状況は、転入の増加などに繋がっていきますよ。もっと市民の意見を尊重すべき</p>
3	戸田市在住	分科会【D】テーマ(2)起業・就労支援、産業振興、観光振興、協働・交流	<p>戸田市には正直言って特筆したものがひとつもない。 何もかも中途半端。 その場限りのイベントなどの付け焼刃行事だらけ 市長も言っているが緑と水が魅力的なのであれば、そこを重点的に強化すべき（公園施設の充実、緑地と建物の調和など伸ばせるところに力をいれる考えがないのか）</p>
4	戸田市在住	分科会【A】テーマ(2)消防・救急、防災、防犯、市民相談・消費生活、河川・水路	<p>分科会【A】テーマ(2)内の市民相談です。 戸田市上戸田90にあるフットサル施設の深夜帯までの大声や騒音、活動音が深夜まで続いており周囲の平日時間指定通行止め道路についても利用者は関係なく車で通行し、日中も路上駐車や施設駐車場へ入場する為の利用者の車で頻りに渋滞が発生しクラクションが鳴り響く事も少なくありません。 その他にも指定ゴミ集積所へ事業ゴミや分別のされていないゴミ等を出されたりもあります。 何度も警察へ深夜の騒音(平日休日問わず21時～深夜2時などの時間帯)で通報していますが、法的な対処は出来ず注意のみで終わってしまっています、周囲は住宅街でもあり、周辺住民も迷惑しています。 何とか対応をして頂けたら幸いです。</p>
5	戸田市在住	分科会【D】テーマ(1)緑地・緑化・水辺、公園、地球環境保全、廃棄物・リサイクル	<p>彩湖・道満グリーンパークの駐車場やバーベキュー広場に戸田市民専用エリアを作って欲しいです。 戸田市民以外の利用者が多く、市民が入れない状況はとても残念に思います。</p>
6	戸田市在住	分科会【D】テーマ(2)起業・就労支援、産業振興、観光振興、協働・交流	<p>戸田はとても住みやすいですが、市内の飲食店やドラッグストア、ホームセンターなどのお店が近隣市区町村に比べて少ないと感じております。</p>
7	戸田市在住	分科会【D】テーマ(1)緑地・緑化・水辺、公園、地球環境保全、廃棄物・リサイクル	<p>戸田駅周辺に遊具のある公園が少ないと感じております。 小さい子供と小学生位の子達が遊べるような遊具の種類がある公園が欲しいです。 駅から徒歩圏内、出来れば5分以内の距離に公園があると便利に感じる世帯数も多いと思います。よろしくお願いします。</p>
8	戸田市在住	分科会【C】テーマ(2)生涯学習、芸術・文化、スポーツ・レクリエーション	<ul style="list-style-type: none"> ・本会議において、芸術・文化に関する意見が全く出ていない。意見できる人を委員に加える等が必要ではないか。 ・文化については、特に音楽面の取り組み低下が著しい。以前は全小学校にあった器楽系クラブが、コロナ禍を経てほぼ活動休止になっている。 ・芦原小学校で行われていた市内音楽団体への教室貸し出しが、「コロナ禍」「教室増」といった理由でしばらく中止された後、「個人情報保護」「地域に貢献がない」「近隣から苦情が1件あった」というように、理由を変えて中止されている。芦原小学校を活動の拠点として結成された音楽団体もある中、現在の学校経営陣が開校当初の施設設置思想について誤った解釈をして、現在に適用している。 ・また、その代替となる音楽施設は用意されておらず、市内音楽団体の活動はここ数年で大きく低下している実態がある。 ・音楽団体の活動拠点となる場所がない。スポーツ団体は小学校内に用具置き場を持っており無償で使用できているところが多いが、文化団体（特に音楽団体）はそのような場所がほぼない（戸田交響楽団と戸田倶楽部のみ文化会館内に置けている）ことから、活動の継続性に課題がある。 ・また、そのような環境のため、中学校の文化系部活動の地域移行が進まない（受け皿のリソース不足）。 ・公共施設予約システムが2023年に改変されて、非常に使いにくくなった。例えばこれまでシステム閲覧可能だった0時から9時の間はシステムダウンしているなど、サービス低下が著しい。 <p>近隣市を見習ってシステムを改修して欲しい。 また、システムに関してアンケートを取ったが、その結果は公開されず、その結果に基づいてどんな改修が行われたかも全く分からない。アンケートに答えてもフィードバックがないのならば、アンケートはやらないで欲しい。</p>

第4回協働会議 ファシリテーター用 進行シナリオ

分科会の進行に当たり、ディスカッションの開始部分の進行シナリオを作成しました。
一例ではありますが、必要に応じてお使いください。

第2回『戸田市の現状・問題と課題』の再確認（時間配分：5分以内）

過不足が無いかな等の確認を行い、無ければ、（裏面）へ。

発言者	シナリオ（例）
ファシリテーター	<p>それでは、前回、話し合った内容について、再確認を行います。まず、1つ目の分野【 】で、追加の意見や変更などがありますか？なければ、次の分野に移ります。</p>
委員	<p>意見を発表</p>
ファシリテーター	<p>今の御意見について、皆さん、いかがですか？</p> <p>（ワークシートに追加する・変更するなど、話し合いの結果を受けて、書記がPC上のワークシートを修正します。）</p>
ファシリテーター	<p>次に、分野【 】で、追加の意見や変更などがありますか？</p> <p>（～以降、同様に各分野の再確認～）</p>
ファシリテーター	<p>それでは、一通り、確認ができましたので、 の目指すべき姿の検討に、移ります。</p>

『今後、5年間の目指すべき姿・考え方』

(20:30頃まで)

『目指すべき姿を実現するための取り組み』

発言者	シナリオ(例)
ファシリテーター	<p>それでは、分野【○○○○】の「目指すべき姿」と「実現するための取組」についてです。目指すべき姿と取組は関連しているので、分野ごとにまとめて、話を進めます。まずは、1人か、2人に「目指すべき姿」について意見を聞いてから、掘り下げていきたいと思います。どなたかありますか？</p>
委員	<p>意見を発表 (ない場合は、「 さん、どうですか」と声掛け)</p> <p>(随時、書記が、PC上で意見を箇条書きします。)</p>
ファシリテーター	<p>ありがとうございます。関連した御意見などありますか？なければ、別の御意見でも構いませんが、いかがでしょうか？</p>
委員	<p>意見を発表 (ない場合は、「 さん、どうですか」と声掛け)</p> <p>(意見がいくか出てきたら)</p>
ファシリテーター	<p>いくつか意見がでましたので、共通部分の整理や、目指すべき姿としての総括的なフレーズについては、いかがでしょうか？</p>
委員	<p>意見交換</p> <p>まとってきた内容を、書記が、PC上でワークシートに記入します。)</p> <p>(話がまとってきたら)</p>
ファシリテーター	<p>では、時間も限られていますので、一旦、次の分野【 】に移って、最後に全体を確認しましょう。</p> <p>(~以降、同様に各分野の検討 ~)</p>

【ディスカッションのルール】

■お互いの立場を尊重

→ 意見が食い違うこともあります。互いを尊重し、「ありがとう」という想いで、話し合いを進めていきましょう。

■人の意見を真似してOK/つなげてOK

→ 意見を共有して、最大化しましょう。

■途中で結論は出さない

→ 結論を急がずにあらゆる可能性を考え、議論を深めましょう。

■人の話をよく聞く

→ 人の話をよく聞くことも大切なルールです。発言は1回1分を目安に、話し合いを進めていきましょう。

■全員が参加者

→ 1人1人が参加者です。あなたの意見が大切な材料になります。どうか遠慮をしないでください。